



令和元年度第41回卒業証書授与式

3月1日(日)11:00～12:00に卒業生と教職員のみの卒業式が実施されました。内閣総理大臣及び秋田県知事からの要請により、新型コロナウイルス症の感染拡大防止の観点から令和2年3月2日から3月21日まで臨時休業とする通知が秋田県教育庁から入り、異例の式となりました。今年度の卒業生は、普通科88名・情報メディア科14名、合計102名で、一人一人に卒業証書が授与されました。小園敦校長からは、「仁賀保高校から羽ばたく皆さんに2つのキーワードを送ります。一つ目は「トライアル＆エラー・フィードバック」です。「トライアル＆エラー」はプログラミングでよく耳にする言葉です。「計画を立て、やってみて、失敗を繰り返す。」失敗した原因の究明を怠らずにフィードバックして修正を加え、再チャレンジしてください。挑戦する時は、誰かの笑顔を想像してみましよう。トライする意志のある人間は、エラーをバネに成長するのです。二つ目は「アイコンタクト」です。アイコンタクトは目と目で通じ合うこと、相手と以心伝心することです。愛は、瞳であると同時に出会い、ふれ合い、支え合いの「愛」であり、人間関係構築の基本です。」と激励の言葉がありました。3年C組の熊谷李桜さんが、卒業生代表として答辞を読み、「思っている以上に高校の三年間はとても短いということです。だからこそ、今の自分に何ができるのかを考え、思い立ったら直ぐ行動に移すことを心がけてほしいと思います。そしてもう一つ、今まで私たちが伝えてきたことと、みなさんがここで培ってきた経験があれば、仁賀保高校の伝統を途絶えることなく、これからの学校の発展へと繋げられると思います。」と在校生に向かって語りかけ、最後にお世話になった方々へ感謝の言葉を述べました。卒業式終了後の各クラスでは、3年を振り返ってのスピーチや、担任の先生への花束贈呈などが行われ、いつまでも別れを惜しむ姿が見られました。

小園敦校長 式辞



在校生代表送辞



卒業生代表答辞



3A



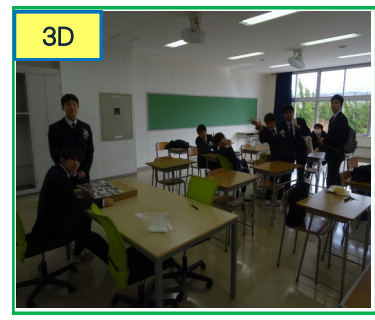
3B



3C



3D



模擬就職進学試験(2年)

2月13日(木)5・6校時に、2年生が模擬就職進学試験を実施しました。生徒たちは、今年度の求人票をもとに就職試験の志願先を決定して願書や履歴書の作成に取り組み、面接練習を行って試験に臨みました。地元の製造業コースを模擬受験した佐藤陽太君は、「面接試験の難しさを実感しました。立ち振る舞いなどの細かい作法は普段から意識して行動しないと一朝一夕では身につかないと思いました。」と感想を述べていました。



進路講話 (職員講話・先輩講話)

2月21日(木)1・2年生全員に5校時は職員による進路講話を、6校時は3年生から進路決定までの体験談を聞く先輩講話を実施しました。大学(医療系専門学校含む)・専門学校・就職・情報メディア科に分かれ、進路決定に至る心構えや学習に対して取り組む姿勢を学び、自己の進路目標の実現に向けて意識を高めました。



4月の主な行事

【4月】

- 4月 6日(月) 新任式・始業式・整容指導
- 7日(火) 入学式
- 5日(火) 一般選抜(生徒休業日)
- 8日(水) 生徒会入会式・部活動紹介
身体測定・オリエンテーション
- 9日(木) 実力テスト
- 14日(火) PTA役員会
- 28日(火) PTA総会・総体壮行式
新旧PTA役員懇談会
- 30日(木) 生徒総会

社会人になるための準備 (3年)

3年生が出校日にあわせて2月13日(木)に年金セミナーを2月20日(木)にスーツ着こなしセミナーを実施しました。いずれも講師の方を招いて、これから社会人になるための準備として、意識を高めることができました。

